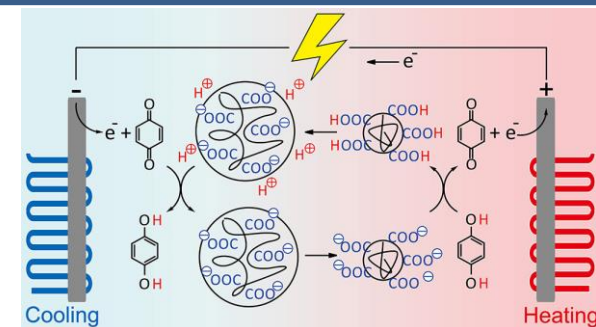


課題名 生体温度で発電可能な温度差電池のウェアラブルデバイスへの応用

プロジェクトの概要

体温付近において高い起電力および変換効率を得られる温度差電池をベンチャーで事業化し、社会実装するための準備・検証を行う。具体的には、自社および競合の特許・技術を踏まえ、ビジネス面および技術面から事業性を検証する。



ビジネスモデル(申請時)

体温と外気温との温度差により発電を行う温度差電池ユニットを製品化し、この電池をウェアラブルデバイスメーカー等に向けて販売する。

活動計画(申請時)

このプログラムでは、競合技術分析・知的財産調査・想定顧客に対してのヒアリングを通して、我々の技術をウェアラブルデバイス等を実装する価値があるのかを検証する。さらに、我々の温度差電池を用いたプロトタイプを作製し、実際に何らかのデバイスを稼働させることで、我々の技術が実用化可能であることを示すことを目指す。

